



公益社団法人
東京地学協会

定期講演会



望月勝海教授、かく記録せり

一日記に読む地体構造論・地誌記述・地学教育の歴史

講演者：山田俊弘（東京地学協会日本地学史編纂委員会委員）

もちづき かつみ

『日本地学史』（1948）によって斯界に名をとどめる静岡大学教授であった望月勝海（1905-1963）は、生涯日記を書き綴ったということでも記憶されるべき地学者である。このたび報告者は、共同研究者とともにご遺族の手によって大切に保管された全57巻の日記を読み解き、20世紀地学史の知られざる一面を垣間見ることができた。なかでも、地殻の水平移動を主動因とする構造論、地質と地理を一体化する地誌記述、戦前から戦後に至る地学教育の様相に焦点を当てながら、その生涯と業績の今日的な意義を考えたい。

日時：2024（令和6）年2月24日（土）14:00～16:00（13:00 受付開始）

会場：地学会館 2階講堂（東京都千代田区二番町12-2）

会場への道順

<http://www.geog.or.jp/news/66-concerned/495-news240110.html#michijun>

参加費：無 料

主催：公益社団法人 東京地学協会

Tel. 03-3261-0809

chigaku@geog.or.jp

<http://www.geog.or.jp/>

